



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

後期高齢者検診について

(平成30年6月)

75歳以上の高齢者検診の希望検診が値上げになった。高齢者の健康維持、疾患の悪化防止のための自己負担の軽減を求める。

デマンドタクシーの運営について

(平成31年3月)

車の運転も困難という高齢者が多くなっている。土曜、日曜まで拡大する必要があるのでは。

質問

町からの補助は今後検討する

追加料金は健診協会で定めている。町からの補助は今後検討する。

利用実現に取り組んでいく

社会福祉協議会と連携し、利用実現に取り組んでいく。

答弁

現在の状況は、こうなっています

令和3年度から、追加検査2,200円を1,000円で受診できるよう検討している

現在、高齢者検診は無料で実施している。さらに、追加検査（眼底、心電図、貧血）を希望する場合には、2,200円で受診できる。高齢者の健康増進の観点から、検診の受診を促すためにも、令和3年度からは、この追加検査を1,000円で受診できるよう検討している。

今後、社会情勢等を見ながら実施に向けて協議をしていく

令和元年度に住民へアンケート調査を実施した。結果をもとに城里町地域公共交通会議を経て、令和2年度中にニーズや問題点の把握を目的とした実証実験運行を行うことで予算化をしたが、6月25日に開催した地域公共交通会議において、コロナ禍の影響を考慮し、本年度の実証実験運行は見送ることとなった。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大を受け、全国の6月地方議会では一般質問の中止や傍聴の自粛が相次いだ。職員のコロナ対策専念や感染防止が主な理由だが、議会本来の役割を自ら放棄してないかとの疑問も残る。

さて、当議会においては、傍聴人の人数制限はしたが、一般質問は予定通り行われ、2名の議員が質問に立った。非常事態においても、一般質問を重視した、当議会の判断は支持されるのではないだろうか。

他方、コロナ禍の副産物に、授業や会議のオンライン化がある。飲み会まで、オンラインでする時代になった。議会も、古い習慣にとらわれない柔軟な対応が求められる。これは遅々として進まなかった議会改革の最大のチャンスでもある。

議会広報委員会

- | | | | |
|------|-------|-------|---|
| 委員長 | 藤 咲 | 三村 孝信 | 記 |
| 副委員長 | 桜 井 | | |
| 委員 | 河原井 正 | | |
| | 猿田 純 | | |
| | 加藤 直 | | |